

情報連絡員報告総括表(令和2年3月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 38名 (95%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化						
製 造 業	食料品		2	2	1	3		1	3			4			1	3		2	2		3	1		3	1		1	3						
	繊維工業		1	2		2	1		2	1		2	1		2	1		2	1		1	2		3				3						
	木材・木製品			1		1				1			1			1			1			1		1				1						
	紙・紙加工品		1	1		2		1		1	1		1	1		2			1	1		1	1		2		1	1						
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化学・ゴム																																	
	窯業・土石製品			3	1	2			3		2	1			3		3			2	1		3			1	2							
	鉄鋼・金属			1			1		1		1			1		1		1			1		1				1							
	一般機器		1	2	2	1			2	1		2	1		1	2		2	1		1	2		3				3						
	電気機器			1		1			1		1				1				1			1		1			1							
	輸送機器			1			1		1		1				1				1			1			1			1						
	その他																																	
小計			6	14	4	13	3	2	14	4		15	5		6	14		13	7		9	11		18	2		4	16						
非 製 造 業	卸売業		1	1		1	1		2			2			1	1		2		X				2			1	1						
	小売業		1	4	1	2	2	1	3	1		3	2		1	4		1	4								4	1		1	4			
	商店街			1			1	1					1			1			1									1			1			
	サービス業		1	4	X				4	1		4	1		1	4		3	2									4	1		1	4		
	建設業		2	1						3			2	1		2	1		2				1		2	1				3			2	1
	運輸業			1						1			1				1							1						1			1	
	その他			1						1			1			1			1					1							1		1	
小計			5	13				1	3	4	2	14	2		12	6		5	13		9	9					14	4		6	12			
合計			11	27				5	16	7	4	28	6		27	11		11	27		22	16		9	11		32	6		10	28			

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成31年2月～令和2年3月)

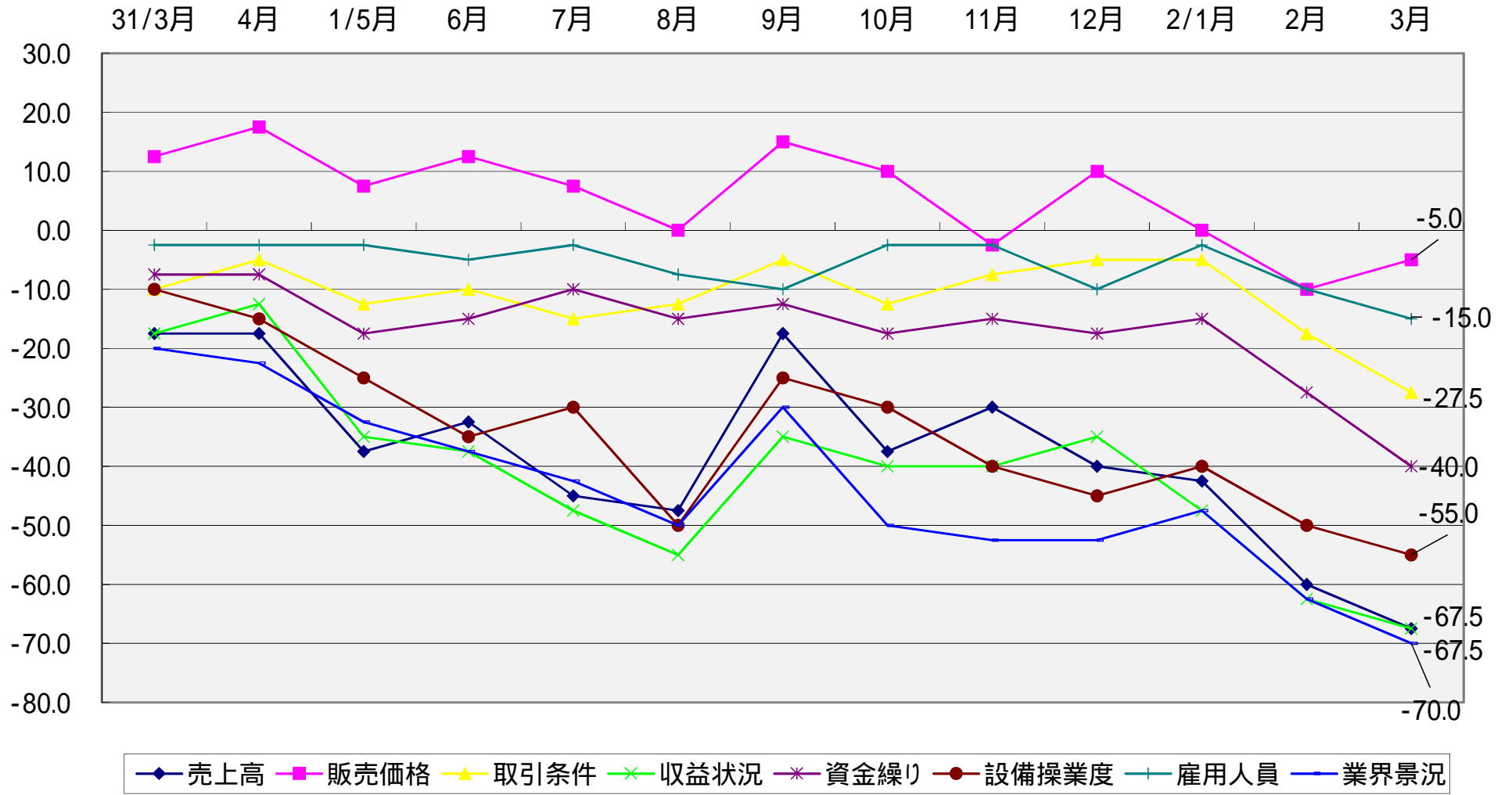
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	31/3月	4月	1/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	2月	3月	増減
売上高	-17.5	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	-40.0	-42.5	-60.0	-67.5	-7.5
販売価格	12.5	17.5	7.5	12.5	7.5	0.0	15.0	10.0	-2.5	10.0	0.0	-10.0	-5.0	5.0
取引条件	-10.0	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	-5.0	-5.0	-17.5	-27.5	-10.0
収益状況	-17.5	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	-35.0	-47.5	-62.5	-67.5	-5.0
資金繰り	-7.5	-7.5	-17.5	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	-17.5	-15.0	-17.5	-15.0	-27.5	-40.0	-12.5
設備操業度	-10.0	-15.0	-25.0	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	-30.0	-40.0	-45.0	-40.0	-50.0	-55.0	-5.0
雇用人員	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-10.0	-2.5	-10.0	-15.0	-5.0
業界景況	-20.0	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-52.5	-47.5	-62.5	-70.0	-7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。暖冬の影響により冬野菜の生育が進み、生産過剰となっている。外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を6月に実施することになり、県内2社の実習生が受験を予定している。新型コロナウイルスの影響により、東京での漬物フェスティバル、名古屋市での中部パック等のイベント開催への影響が出ている。また全国漬物協同組合連合会を通じての業務用マスクの手配等を進めている。
	醤油味噌	パンデミックにより、学校給食や外食での減収、減益が一部あり。マスクは不足で困っている。COVID-19コロナショックの終息がわからず、予算策定にも困っている。志摩のホテルが1件倒産したらしい。
	豆腐	新型コロナウイルスの影響で、学校給食への納品が皆無、外食産業への納品も半減している。
	製麺	3月はコロナウイルスで大変な状況になっている。特に観光関係はかなりの打撃を受けている。先が見えない状況でとても不安な事態になっている。特に伊勢うどん関連は厳しい状況である。持ち帰り商品は商品によって売れている所もある。今後の状況を踏まえた事にあたっていく覚悟である。
繊維工業	組紐	コロナウイルスの影響が少し出始めた。今後、取引先からの注文が激減するのは時間の問題と思われる。和装業界はコロナウイルス不況の影響でどこまで悪くなるのが非常に気がかりである。
	テントシート	今後のコロナウイルスの影響が気になっている。
木材・木製品	木材	コロナウイルスの影響で中国より住宅資材が入りにくい状況が続いており、工期に影響が出ている。県内の原木・製品市場では一部の市が中止となっている。
紙・紙加工品	紙器段ボール	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今年に入り売上が10%~15%も落ちている組合員企業もある。反面、食品、医療関係のユーザーと取り引きをしているところは、昨年対比と同じ売上水準である。食品関係では、業務用より内食、個食用やレトルト食品用の段ボールケースに移行している。今後は自動車関係の需要も減少し、世間は巣ごもり傾向にあり、消費が拡大しないことが予想されるので大きく売り上げは落ち込むかもしれない。
	古紙	3月期の古紙仕入量は、段ボールは約99±5%、新聞、チラシは約92±8%、雑誌、雑紙、その他を合わせて約95±3%と思う。依然としてコロナウイルスの感染により、生活も会社経営も非常事態である。ウイルスは非常に小さく、生命体等に付着し媒介して運ばれ、別の生命体で繁殖し、高熱・肺炎を発症すると年齢に関係なく死亡の確率が高いようなので恐ろしい。マスクやアルコール消毒薬は中国や韓国等の輸出規制が緩和されたようで、これから手に入る可能性が上がるかもしれない。電子部品を伴う製品は、中国等でフル生産に入っているとの情報もあるが、日本へも物流対応等で到着まで時間がかかりそうだ。組合員の中には、古着のリサイクルも行っているが、業者から連絡があり、港湾や海外向けの事情で経営難に陥っているとの事である。家庭紙のトイレット・ティッシュペーパーは、ほぼ店頭に並ぶようになった。製紙会社様の製紙原料古紙の購入量は平均20%程のマイナス発注が続いており、一部取引先様よりコロナ不景気による古紙価格の一部値下げの連絡があった。現在も国内に売れない古紙は、国内古紙価格以下で赤字輸出をしている。古紙の持ち去り行為やゴミの不法投棄等は未だに散見されるが、15%程改善した印象である。
印刷	印刷	年度末の繁忙期で、需要は他の月と比べて格段に増加した。しかしながら新型コロナウイルスによる今後の影響が深刻になってきた。3月初旬はまだそれほど影響はなかったが、中旬頃からイベント等の延期や中止により印刷物の発注が取り消されるケースがでてきた。さらに4月以降は、大会や総会等の中止から自宅でのWEB授業など夏までの需要が激減する恐れとともにコロナ終息後もこれまでの需要に回復できるか懸念される。
窯業・土石製品	伊賀焼	3月に入り、全世界に拡大している新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当館の休館もあり、イベント、展示会、各種の催しが中止された事が大きく影響し、入館者数、陶芸体験者、売上ともに減少している。いつ終息に向かうのかが心配である。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は2月と同様に全体的に減少傾向にあった。特に自動車関連部品はT社及びH社の生産減により若干減少傾向にあった。そんな中、半導体製造装置部品はまだ暫くは増産という傾向が続くが、5月以降は不透明である。但し、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかけられず、今後の生産量に影響を及ぼすとみられる。
一般機器	四日市	新型コロナウイルス感染症により世界中が大パニックに陥ってしまった。先の見えない恐ろしい事件である。経済全体にも多大な被害を受けてしまっている。もちろん当組合も例外ではない。
	津市	組合の中でも売上減で雇用調整をしている所もあれば、受注増により売上が増加している所もあり、売上は平均をとって不変と回答したが、コロナウイルスによる自動車メーカーの製造停止の影響が5月あたりから出てくるものと思われる。得意先もこの先の受注が全く分からない状態であり、下請になればなるほど急な受注キャンセル等の影響が出てくる気がしてならない。
	伊勢	新型コロナウイルスの感染拡大のため、全てが悪くなってきた。人と物の動きが制限、停滞し、輸出入関連が非常に影響を受けた。国内外の新型コロナウイルスの広がりや収束が景気の先行きを左右する要因となる。先行きが見えない。
電気機器	鳥羽	期末の追い込み発注が増えると期待した3月であったが、1月、2月と同様にマイナス状態が続いている。
輸送機器	鈴鹿	新型コロナウイルス感染症の影響に関して、大手自動車メーカーの一時休業や生産調整に伴い売上が大きく減少している組合員がある。まだ売上に影響が出ていない組合員でも海外からの資材、工具などが入手しづらくなっている状況から、今後の生産に影響が出ることが懸念されている。
卸売業	卸センター(津市)	組合員の売上が業種を問わず、4月以降大きく減少見込みである。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
小売業	青果	野菜前半:新型コロナウイルスの感染拡大で一部に影響があるが、相場の動きは大きく変わっていない。全般的にやや価格は高くなっているが、例年より安い。野菜後半:きゅうり、トマト、ミニトマト、ピーマン、なす等はやや安く、キャベツ、レタスはやや高め。新玉葱の入荷が増えて価格もお手頃でサラダにお奨め。果物前半:いちごがお値打ちになってきた。熊本産のスイカの入荷が増えてきた。果物後半:青島みかん、せとか、デコボン等は終盤になってきたが、味も良く人気がある。特に県内産のデコボンが美味しい。いちごは出荷量が増え、味も良くお手頃価格。びわもハウス物が入荷しているが価格は高い。
	自転車	COVID19コロナウイルス問題で当業界も大きな影響を受け始めてきた。メーカーより完成車や部品供給が滞っている。入学シーズンの春需は大きな打撃を受けている。しかしながら、特に大都市圏ではこの危機において移動手段としての自転車が見直されてきている。個人所有の自転車は感染の危険性が非常に少ない乗り物である。一朝有事に自転車を有効に機能させるためには、日頃のメンテナンスと適度な利用が不可欠である。当業界にとってはこうした状況への対応を怠ってはならないと思う。
	電器	3月度、増税後の消費冷え込みに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により一段と厳しい状況になった。加えて中国からの部品の調達の滞りからの品不足も加わって、マイナス要因が重なった。また、例年春の合展が実施される時期ではあるが、メーカー各社が相次いで中止を決定し、急遽個展に切り替えてお客様への販売とサービスを進めることとなった。夏の最盛期に向けて益々不透明な状況に苦慮している。
	石油	3月の県内店頭販売価格については、中東原油(ドバイ)価格の先月対比大幅な下落状況により、看板価格が過ごとに下落傾向であった。さらに新型コロナウイルスの感染が広まる中、2月下旬からイベント開催や不要不急の外出自粛の協力要請において、特に一般車両燃料販売については前年対比12%~15%前後の大変厳しい減販状況であった。この影響は国内の全ての販売事務所に影響を及ぼし、いつ収束するかかわからない状況の中、資金繰りがますます厳しい状況になりつつある。
	スポーツ	コロナウイルス騒ぎで学校が全て閉鎖状態である。それに伴いクラブ活動が中止、練習も対外試合もできない状態である。昔から"スポーツ店、殺すのは刃物はいらぬ。雨が3日も降れば良い"と言われていた。それが今回学校の休みは良いにしても、クラブ活動停止は業界にとっては死活問題である。観光業界もキャンセル続きで大変だと思うが、この業界においても他人事ではない。
サービス業	熊野市	新型コロナウイルスの影響は徐々に大きくなりつつある。この地方でも観光業をはじめ、飲食店等を含め深刻な状況となっている。このまま長引けば経営が成り立たない店舗等も増加傾向である。そんな中、商店街内の朝市イベントはお買い物に特化して開催。出店業者にはマスクと手袋の着用、消毒液の設置を義務づけ、受付時に検温検査を行い、ブース間の間隔をとって開催をした。来場者には従来は休憩用のコンテナ椅子を設置していたが、今回は滞留してもらわないよう設置をやめ、食品についてはお持ち帰りを原則に開催した。いろいろなイベントが中止になっている状況で店舗を持たない業者にとっては今回の開催を喜んでくれた。
	自動車整備	新型コロナウイルス感染拡大への対策として、車検期間の延長等が実施された事により、3月の入庫台数が減少した。
	旅館	3月は新型コロナウイルスにより、団体客は全てキャンセルになり、団体客、個人客の比率が施設によって違うが、団体客が多い施設は約50%マイナス、また個人客が多い施設は30%位マイナスが月初めに影響が出ていた。その後の3連休でキャンセルになった個人客が戻る等、間際の予約が入り少しは明るい兆しかと思ったが、東京都の小池知事の外出自粛が報道された週は個人客のキャンセルが止まらず、その上、一週間後の志村けんさんの報道が追い打ちとなり、個人客も更に30%~50%マイナスになる等、ますます深刻になってきた。この問題の早期収束を祈るばかりである。
	測量	民間の発注業務は数少なく1社のみが受けている程度である。公共事業は年度内の業務も全て終わり、一息つく時期である。仕事柄、コロナウイルス感染の可能性は少なく、作業には影響なし。
建設業	警備	2月に引き続き、コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベントが中止となったが、3月は公共事業が年度末となり公共工事が多忙であったため、かろうじて減少幅が少なくなりました。
	内装工事業	例年、年度末の3月は売上等、駆け込み需要等で結構増加傾向にあるが、今回は減少し、前年同月比でマイナスとなった。消費税増税や当業界はホテル等の観光産業のようにコロナウイルスの影響は直接ないが、経済活動が縮小傾向にあるため、間接的にダメージが出てきているのが原因だと思われる。
運輸業	水道工事業(亀山)	コロナウイルスのため、工事部品(トイレ便器等)が手に入らなくなっている。工期についても施主または発注者(元請)との協議が必要である。新規工事については、機材の納期が未定のため、契約時の打ち合わせが必要。受注に向かえない。
	トラック	新型コロナウイルスの影響等もあり、貨物の輸送量が激減。荷主からキャンセルされた1社あたりの平均金額は3月は652万円と影響が拡大している。発着荷主からマスクの着用要請があるが、入手困難な状況である。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	4月10日地域特産めん研究部会、よろしくお願ひしたい。
一般機器	四日市	政府の対応がとても遅い。もっと強強権発動して国民の命を守る事に専念すべきだ。人工呼吸器が不足しているのだろうか。
	伊勢	技能実習3号終了時の試験(随時2級)が三重県では受けられない。何とかしてほしい。
小売	スポーツ	本年、全国中学校体育大会(全日中大会)が三重を中心に8月下旬に行われる予定であるが、これも雲行きがあやしくなってきた。組合としても準備していたので、もし中止となれば大打撃である。
サービス業	旅館	セーフティーネットについては政府系、準政府系、民間銀行(保証協会)とも相談ののって来ていてある程度心強い感があるが、雇用調整助成金については誰でも分かり易く書式の簡略化を早期にできるようにお願ひしたい。
	測量	各社に緩やかな成長をと呼びかけているが、思うようにはいっていない。
運輸業	トラック	資金繰りへの支援、金融機関からの返済猶予、貸はがし防止、雇用調整助成金の一層の充実。マスク、関連備品の優先配布を希望する。